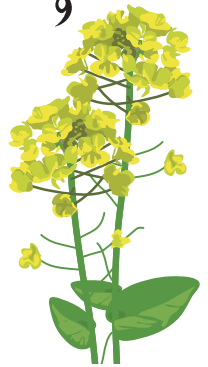


田原市は平成25年度に 市制施行10周年を迎えます



本 市では、平成25年度に市制施行10周年の節目を迎えます。これまで

の歩みを振り返り、未来に向けた新しいスタートとして、市民の皆さんが田原市の魅力を再認識・再発見し、郷土愛を高める機会にしたいと考えています。

これに合わせて募集した市制施行10周年のキャッチフレーズと、平成25年度に実施予定の市制施行10周年に関連したイベントの一部をご紹介します。

市制施行10周年キャッチフレーズ

応募された326件のキャッチフレーズの中から、地域や各種団体の代表者などで構成する田原市市制施行10周年記念事業実行委員会にて選考を行い、最優秀賞を決定しました。今後、市制施行10周年記念事業などのPRに使用していきます。

最優秀賞

「風薫り 光り輝く 旬なまち 田原」

● 応募者 川合靖幸さん(江比間町)

※優秀賞、参加賞の当選者は賞品の発送をもって発表とします。(発送は4月以降)

市制施行10周年関連イベント

● 渥美窯 国宝を生んだその美と技
(田原市博物館特別展)



渥美のやきものは、平安後期から鎌倉時代にかけて、世界遺産となった奥州平泉や鎌倉など

当時の政治、経済の中心地から庶民までの需要に応え、その美と技を提供してきました。しかし、鎌倉時代で生産を終え、今やまぼろしの窯となり、その作品は国宝や重要文化財となっています。このたび800年の時間を経て、田原市に里帰りをします。

● 嚶鳴フォーラム in 田原



ふるさとの先人(渡辺華山・糟谷磯丸など)を活かしたまちづくりなどを行い、先人の志と行動力に学ぶ自治体の交流を目的とした嚶鳴協議会が主催するフォーラムが田原市で開催されます。

※なお、このほかの各種事業については、詳細が決まり次第お知らせします。

▼ 政策推進課 ☎ 23局3507

2012年を振り返る「田原市10大ニュース」

◆ 南海トラフの巨大地震被害想定発表、市の防災体制見直しへ(3/8日)

内閣府が、巨大地震による津波高、浸水域や被害想定案を発表。最大規模の地震・津波から市民の生命・財産を守るため、防災体制の一層の強化に向け、見直しを開始。

◆ 市役所で「県内初の旅券(パスポート)発給事務を開始」(4月2日)

東三河県民生活プラザ旅券コーナーで行っていた旅券発給事務を、4月から市役所市民課窓口で開始。

◆ 田原市からプロボクシング日本チャンピオン&プロ野球選手が誕生！(5月・12月)

プロボクシング日本スーパーフェザー級タイトルマッチ(5月)で赤石出身の金子大樹選手が勝利し、日本チャンピオン奪取。プロ野球ドラフト会議で、赤羽根町出身の小川泰弘選手が東京ヤクルトスワローズから2位指名。

◆ 沖縄県石垣島沖から投流したやしの実が、11年ぶりに渥美半島に漂着(7月)

「愛のコナッツ・メッセージPART25」(6月)で沖縄県石垣島沖から投流した105個のやしの実のうち3個が、11年ぶりに渥美半島へ漂着。

◆ 三河港とロシア・ウラジオストク港とを結ぶコンテナ航路の開設決定(8月27日)

三河港からウラジオストクの組立工場へ自動車部品を運ぶためのコンテナ航路を平成25年に開設。

◆ 国内最大級のメガソーラー発電事業が着工(11月7日)

田原1区臨海工業用地で「たはらソーラー・ウインド共同事業」が着工。太陽光と風力発電を併せ、5万6000kWの発電能力。2014年完工予定。

◆ 中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会を開催(11月18日)

田原市を舞台に、世界に通用する国内トップクラスの選手たちが市内85・7kmを疾走。

◆ 愛知県市町村対抗駅伝競走大会で田原市が念願の初優勝！(12月1日)

第7回目となる今大会で念願の初優勝(第6回大会3位、第5回大会2位)。

◆ 第1次田原市総合計画改定(12月18日)

市民・地域・行政が協働で作成した「第1次総合計画改定」が議会でも可決。まちづくりの理念として「みんなが幸福を実現できるまち」を掲げ、市民・地域・行政が一体となって新たな時代のまちづくりを推進していくための指針を決定。

◆ 市内での活動が評価され、3団体が大臣表彰を受賞

NPO法人田原菜の花エコネットワークが総務大臣表彰(2月)。田原市老人クラブ連合会が厚生労働大臣表彰(8月)。NPO法人東三河自然観察会が環境大臣表彰(11月)をそれぞれ受賞。